

地域の教育力を有効に活用した、 学校・地域を挙げての児童の読書活動推進

茨城県 大洗町立大洗小学校

基本データ

所在地	大洗町
児童生徒数	463人
教職員数	42人
蔵書数	9,429冊
年間貸出冊数	5,740冊

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】公共図書館、地域との連携体制、ネットワークの構築

【活動のねらい】

- 図書委員会の児童と図書ボランティアと一緒に図書の貸し出しや整頓、本の修繕を行うことで、児童はその方法を詳しく教わることができ、円滑に活動を行うことができる。
- 児童の読書に親しむ気持ちを高めるために、大洗町ボランティア団体お話の会「まつぼっくり」に読み聞かせを依頼している。大型紙芝居やスクリーンシアターを活用し、読書の入り口として物語の世界を楽しむことができる。
- 図書ボランティアの方々にとっては、近年の児童の読書傾向を把握することができ、自分の子どものために新刊図書を選ぶ際の参考とすることができる。

取組・活動の概要

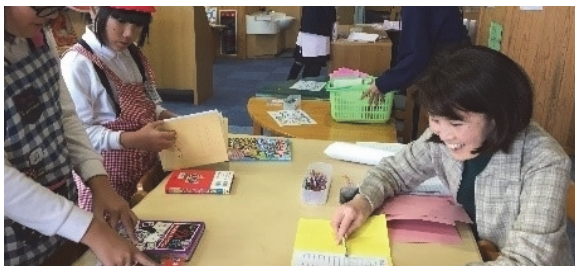
(1) 図書ボランティア

- 年度初めに、保護者による図書ボランティアを募り、毎週月・火・金曜日の昼休みと、火・金曜日の放課後に活動していただいている。



図書ボランティアの打ち合わせの様子

- 図書室掲示コーナーに季節感のある掲示物の作成と設置、図書の貸し出し、図書の整頓や修繕を行っている。
- 図書委員会の児童や本を借りに来た児童に対し、貸し出しや返却の仕方、整頓の仕方などを丁寧に教えてくれている。



図書ボランティアによる図書の貸し出し

(2) お話の会「まつぼっくり」

- 毎週水曜日の朝の読書の時間や、毎年10月に行われている学校行事「いささかりんりん祭り」での読み聞かせを依頼している。



毎週水曜日の朝の読み聞かせの様子

- 「いささかりんりん祭り」では、学校の一室を「お話の部屋」ブースとし、大型紙芝居やスクリーンシアターを行っている。



いささかりんりん祭りの「お話の部屋」の様子

取組・活動の工夫や特徴

(1) 図書ボランティア

- 図書ボランティアを募った後、図書委員会の児童と図書担当職員、図書ボランティアでの顔合わせと仕事内容の説明会を行っている。
- そのため、初めてボランティアに参加する保護者も仕事内容が分かり、安心して参加することができる。
- 月に1回や放課後のみの活動でもボランティア登録可能としており、保護者が気軽に参加できるようにしている。
- 活動内容については、図書担当職員と図書ボランティアとの連絡を積極的に行っている。
- 保護者の代表の方と十分な打ち合わせを行うために電話連絡や対面での密な連絡を行っている。
- 図書室に連絡ノートを用意し、その日に活動した内容や活動に必要なものを記録することで、職員と図書ボランティアが実態を把握できるようにしている。

(2) お話の会「まっぼっくり」

- 学期毎に学校行事予定をお知らせし、「読書の時間スケジュール」を作成してもらっている。
- これまでは各学年同じ回数読み聞かせを行っていたが、読み聞かせによる聞く力や語彙力の向上という言語面の発達を考え、低学年の読み聞かせの回数を多くした。
- 「いささかりんりん祭り」では、担当者と打ち合わせをしながら毎年読み聞かせの内容や取り組みを変え、毎年ブースに訪れる児童も楽しめるよう工夫をしている。

取組・活動の成果や今後の展望

(1) 図書ボランティア

- 図書室内の環境整備を依頼したことにより、季節にあった掲示物や工夫ある図書環境が整ってきている。
- 図書委員会の児童だけでは難しかった、本の整頓や修繕等を定期的に行ってもらえるため、常に図書室内の環境が整った状態に保たれるようになった。
- 今後は、図書ボランティアの活動等に関するPRに努め、より多くの保護者に参加してもらい、活動がより活発になるようにしていきたい。

(2) お話の会「まっぼっくり」

- 読み聞かせにより児童の読書への意欲が高まっており、毎月行っている読書量調査では、1年間に50冊以上読む児童の割合が毎年95%以上になっている。
- 今後は、朝の読書の時間や「いささかりんりん祭り」だけでなく、図書委員会とともに読書集会等で発表をするなど、様々な場面で子ども達と活動していただくと共に、読み聞かせの活動がより円滑に進められるよう、十分なる打ち合わせを行っていきたい。